2025年公立高校入試
合格体験記

①…入塾学年　②…出身中学

一宮高校 | 岩﨑 一起　①小６　②暁中

私は小6の3月に神田塾に入りました。神田塾に入った当初は、勉強面でみんなについて行けるか不安でした。予想通り、入った当初はみんなについていけなかったのですが、先生に言われたことを活かしたり量をこなしていくうちに順位も着実に良くなって行きました。そして、アッという間の3年間。努力が実を結び、無事第1志望校に合格することができました。本当に短く感じた3年間ですが、振り返るといろんな出来事がありました。そんな3年間を紹介して行きたいと思います。

〈志望校の決め方〉

私が進路を最終的に決めたのは、3年の夏であり、周りの人より遅めでした。志望校を決めた理由は、「友達と一緒の高校に行きたい！」という生半可な気持ちからでした。しかし、そのようないい加減な気持ちじゃだめだと、塾の先生方の話を聞いていく中で感じ、本気でその高校を目指すようになって行きました。

〈受験への不安〉

2年生から中3受験生になろうとしていた頃、私は大きな不安を感じていました。そんな時、私を支えてくださったのは塾の先生方です。私の照れ臭い悩みに親身になって相談に乗ってくださって、おかげで勉強に集中することができました。

〈勉強〉

受験生になると、春期、夏期、冬期講習が1・2年の時より日数が増え、さらに『土曜講習』と『日曜講習』が追加され、それに伴い勉強量が必然的に増えました。とても大変でしたが、大事にしてきたことがあります。それは『間違い直し』です。一度間違った問題は、次に解いたとき必ず答えられるように『直しの徹底』を意識しました。勉強量が増えたことで直しの量も増えたので、本当に大変でした。しかし、その勉強量が、受験当日の“自信”に変わりました。これは、とても大きかったと思います。

〈最後に〉

受験生に皆さん。この1年間は体力的にも精神的にも大変だと思います。しかし、決して勉強は無駄にはならないと思います。勉強量は、最終的には受験をする上での大きな“自信”になるからです！勉強をしていくことで不安になったり、逃げ出したくなることがあると思います。そんな時は頼れる塾の先生方がいます。絶対に手厚い手助けをしてくれます。

塾の先生方、入試直前まで一人ひとりに真剣に向き合い、全力で支えて下さって本当にありがとうございました。ありきたりな言葉ですが、「本当に」です!!受験生の皆さん、そして中1・2の皆さん、一日一日コツコツ努力を続けて下さい。最後に塾の先生方、3年間本当にありがとうございました。

瑞陵高校 | 早川 郁　①中３　②神守中

私は、中学3年生の夏休みから神田塾に通い始めました。塾に通い始めるまで、私は全く勉強をしていませんでした。学校の定期テストでも直前に勉強を始めていたため、当然テストの順位はだんだんと下がっていきました。そこで私は、「このままではダメだ。」と思い、神田塾に通うことを決めました。

塾に通い始めたころはいつも周りの人より低い点数を取っていて、悔しい思いをしていました。しかし、毎日コツコツと勉強することで、自分の力がついていくのがよく分かりました。学校のテストでも塾の日曜講習「ザ・ファイナル」でも、着実に順位が上がっていったことで、自分に大きく自信がつきました。この自身が、高校合格に繋がっていったのだと思います。

神田塾でたくさんのことを学んできた中で、私が一番大切だと思うことは、「継続すること」です。どんなことも続けないと力はつきません。もちろん、続けることは難しいし、何度もやめたい、逃げたいと思うかもしれません。ですが、続けることが自分の目標への一番の近道だと私は思います。

これから受験生となる皆さん。結果が思うように出せない時も多々あると思います。ですが、そんなときはできない自分を責めるのではなく、頑張った自分を褒めてください。努力した自分を信じて、そして先生方や周りの大切な人たちのことを信じて、前に進んでください。

「後から悔やんでも遅い。」これは私が受験期に大事にしてきた言葉です。神田塾の先生方もいつもおっしゃるように、限りある時間を大切にして、自分が後悔しないように過ごしてほしいと思います。

神田塾の先生方。短い間でしたがありがとうございました。先生方が熱心に指導をしてくださったおかげで、第一志望である瑞陵高校に合格することが出来ました。神田塾に入って本当に良かったと心から思います。本当にありがとうございました。

千種高校 | 宮永 生斗　①小６　②暁中

僕は小学6年生の3月に入塾しました。入塾してから今まで頑張ってきましたが、効率的な学習ができていたとは言い難く、何度も間違いを繰り返していました。そのような状況で合格できたのは、2つの点を意識して学習を進めたからだと思います。

1つめは、「自習室の利用」という点です。家では集中力が続かないため、塾の自習室を積極的に利用してきました。自習室では、周りの人が一生懸命学習している様子が刺激になり、集中力を保って勉強することができました。

2つ目は、「問題集を徹底的に活用する」という点です。塾で使っている問題集を繰り返し解き、間違えた問題は必ず「間違い直し」をして自分の弱い所を分析するようにしてきました。同じ間違いを繰り返さないようにすることで、しっかりと理解を深めることができました。こういった問題集の活用を通して、僕は単に知識を定着させるだけでなく、試験本番でも落ち着いて問題を解くための「自信」も養う事ができました。本番の試験では、緊張や焦りから普段通りの力を発揮できないことがあります。しかし、問題集を徹底的に解き、自分の弱点を克服することで、「自分は頑張ったんだ。」という自信を持って試験に臨むことができます。塾の問題集を通して培った「自信」と「落ち着き」は、試験本番で僕を支える大きな力となりました。

僕の受験勉強は、決して順調に進んだわけではありません。しかし、自習室と問題集の徹底的な活用により、自分の目標を達成することができました。

最後に、これから受験に挑む皆さんも、自分に合った学習方法を見つけ、自分の夢に向かって進んでいってください。そして3年間僕を支えて下さった先生方、先生方が僕を助けてくれたことは忘れません。本当にありがとうございました。

旭丘高校 | 水口 泰岐　①中１　②暁中

僕は1年生の7月に入塾しました。入塾した時、定期テストの順位は11位でしたが、神田塾に入ってからはトップ5に入る事ができるようになりました。

〈講習会&志望校について〉

僕が特に役に立ったと感じている講習会は、11月から始まる日曜講習（ザ・ファイナル）です。この講習会ではたくさんの演習を通じて確固たる実力をつける事ができたと感じています。僕は、レベルが高く、楽しいと聞いていたので志望校を旭丘にしました。が、初めその意志はあまり強くはありませんでした（1年の初めの頃）。その後、説明会に行ったり、実際に学校祭を見に行ったりして、「旭丘に絶対に行こう。」と決意しました。なので、皆さんがもし自分の志望校に行ったことがないのであれば1度行ってみることをお薦めします。

〈受験勉強で意識したことについて〉

僕が受験勉強で意識したことは4つあります。

一つ目は「直し」をしっかりすることです。（普段から言われているとは思いますが）僕はこれをしたことで、学んだことの定着度が格段に上がりました。

二つ目は一つの問題集をとことんやり倒すことです。僕の場合、理科の「ウイニング」を5周しました。

三つめは勉強を開始する前に何をやるのかの計画を立てることです。僕はこれをすることによって、すぐに勉強に取り掛かる事ができました。

四つ目は社会の暗記についてです。僕は問題集を3周（場所によっては4，5周）回した後、それでも覚えられなかったところだけをノートにまとめました。そのまとめ方にもポイントがあり、書き写すだけのまとめノートは意味がないので、覚えられなかった用語だけを書き出し、時間がある時に何度も見返しできるようにしました。

〈終わりに〉

高校に行っても、神田塾で身につけた学習方法を土台に進化し続け、将来「どーだ！」と自慢できるような実力を付けられるように頑張ります。神田塾の先生方、いかなる時も生徒に寄り添い、最後まで伴奏してくださり心から感謝しています。（神田塾は凄い、と、今つくづく思います。）

3年間どうもありがとうございました。

桜台高校 | 勝 花音　①中２　②天王中

私は、中学2年生の終わりの頃に入塾しました。もうすぐ3年生になるし、受験のためにもとりあえず塾に入るという曖昧な理由から入塾しました。なので、入塾した当初は志望校が決まっておらず、勉強に対する意欲や向上心が特にあるというわけではありませんでした。ですが、初めての模試で塾内10番に入り、塾内で結果が貼り出された時、すごく達成感を感じました。それからは、もっと良い点数を取りたい、順位を上げたいと思うようになりました。そのような気持ちが強くなり、私は志望校を私の実力より高いところにしようと考え、志望校を決定しました。そのため、今まで以上に勉強に励み、実力をつけようと必死に取り組みました。私がその時に大切にしたことは、よく塾の先生方がおっしゃっていた「苦手科目を克服し、得意科目を伸ばすこと」と「間違い直しを必ずすること」です。まず、苦手科目については「個別（塾生個別）」で先生方に分からないところを説明してもらい、深く理解することで克服を目指しました。得意科目は、他の科目より少し多めに自習をして、自分でできる限り理解を深めようと取り組みました。そのおかげで、苦手科目ばかりに取り組むこともなく、全ての教科を勉強することが出来ました。

次に、「間違い直しを必ずすること」、これは、絶対に必要だと思います。間違い直しをすることは、いろいろなワークや参考書を漁るより、確実に実力が身に付くと思います。問題を間違えたときに、間違った理由や、その問題についての正しい情報や解き方を理解し紙に残していつでも見返せるようにすることが大切だと思います。最初の頃は、たくさん問題を間違えて「こんなに間違い直しをするなんて。」とくじけそうになりますが、頑張って取り組んでいくうちに少しずつ間違い直しの数も減り、確実に実力が伸びて行きます。

最後に神田塾の先生方、手厚い指導ありがとうございました。長いようで短かった高校受験、先生方のおかげで貴重な経験になりました。この経験をこれからの私の人生に生かしていきたいと思います。また、これから受験をする皆さん、後悔が残らぬように受験生活を送ってください。受験生活はきっと長い道のりだけれど、そんな中でも一日一日を大切に、強い心を持って頑張ってください。

一宮西高校 | 山田 都羽　①中１　②暁中

私は中学1年の5月に入塾しました。入塾テストでは50点にも満たないような点数でした。が、それほど焦りはありませんでした。また、高校への進路についても全く考えておらず、ほどほどに勉強しておけばいいや、ぐらいの軽い気持ちでいました。しかし、初めての定期テストで、塾生のみんなは10位以内でしたが、私は10位台という結果でした。そこから本気で勉強と向き合い始め、自然と成績が上がっていき、10位以内に入れるようになって行きました。その後私は、春・夏・冬期講習会や「土曜講習」、「ザ・ファイナル」を通して、安定して点数を取ることができるようになったり、自分のモチベーションを向上させるきっかけを作ったりする事が出来ました。私は最初「向陽高校」を志望していました。模試の結果はあまり良くはありませんでしたが、3年で伸びるから大丈夫だろうと思っていました。が、あまり伸びず、一番苦手だった数学は60点代や50点台ばかりでした。そんな時、私は本気で『間違い直し』をすることにしました。何度も解き直しをすることによって、似たような問題もスムーズに解けるようになり、実際に私は数学への苦手意識がなくなって、安定して90点台を取れるようになりました。が、私は志望校についてはずっと悩んでいました。「向陽高校」から「一宮西高校」に変えるかどうか悩んでいた時に塾長から背中を押す一言をもらい、志望校を変えることを決意しました。少し肩の荷が下りて気持ちが楽になり、勉強一本へ集中することができました。これから受験をする皆さん。とても辛く感じたり、ストレスがたまることが多いと思います。常に勉強していると精神的にも身体的にも疲れてしまいます。時には、うまく気分転換を図りながら、一日一日を大切に頑張ってください。最後に、神田塾の先生方のおかげで、たくさんの学びを得る事が出来ました。本当にありがとうございました。

瑞陵高校 | 中嶋 里桜　①小６　②暁中

私は、小6の3月から入塾しました。入塾した時は、違う高校を志望校としていましたが、成績が上がり、塾長の薦めもあって中1の途中から瑞陵高校を志望校にしました。その目標を達成するために、私は中1から毎週土曜日に自習室に通い、定期テストでは全力で取り組みました。「上位1桁以内に絶対入る。」と強い気持ちを持って勉強したおかげか、ほとんど1桁内に入る事ができました。受験勉強では、集中することはもちろん、強い意志を持って取り組みました。私がその他に意識したことは、「間違い直し」と「多くの問題に触れる」ことです。1度間違えた問題は、日にちをあけてきちんと納得するまで何度も解き直したり、1つのノートに簡単にまとめて、それを常に持ち歩き、空いた時間に見返しました。また、講習会や国語の塾生個別指導を利用し、模試を解くことで発展問題に少しずつ慣れていきました。10月からは毎日自習室か図書館に通い、何をいつまでに終わらせるかを明確にし、計画的に取り組みました。そうすることで時間を効率よく使うことができ、集中できる時間が長くなって行きました。私が塾の自習室を利用する中で特に印象に残ったのは、私立高校の一般入試の合格発表が終わった後のことでした。教室の雰囲気ががらりと変わり、音を立てるのも怖いくらい緊張した空気を初めて肌で感じました。その当時、私は勉強することが身体的にも精神的にも辛くなっていて、挫けそうになっていました。が、みんなの頑張っている姿を見て、「自分も、努力で負けてはいられない。」そう思い、最後まで乗り切ることができました。そして、入試本番、塾長がおっしゃっていた「今まで頑張ってきた自分に自信を持ち、落ち着いて集中すること。」「失敗してもすぐに気持ちを切り替えること。」このことを大切にして問題を解きました。その結果、神田塾の『ザ・ファイナル』でも取ったことのない最高点を取ることができ、無事に合格することができました。先生方、3年間本当にありがとうございました。

瑞陵高校 | 楠木 愁乃　①中２　②暁中

私は中学2年生の春期講習会の時に入塾しました。それまでの定期テストでは毎回30番台、可もなく不可もなくといった成績、しかし小学校の頃と比べ格段に難しくなった授業内容に段々とついていくことができなくなっていました。　2年生になり始めての定期テスト、私は今までにない程スラスラと問題が解けるようになり、今までの自分との違いに喜びました。この頃から少しだけ勉強に対し楽しみが生まれるようになりました。本格的に勉強に対する意識が変わったのは、夏期講習に入ってからのことでした。周りの人たちが、これまで以上に真剣に授業を受け、当たり前のように毎日自習室へ行く姿を見て、自分も感化され、少しずつ勉強に真剣に取り組むようになり徐々にテストの点も上がるようになりました。勉強をしていく中で私が大切にしていたことは、『間違い直し』です。塾で解いた課題や、模試等で、自分が間違えた箇所を必ず、自分が理解し納得できるようになるまで何度も繰り返し解いていくことで、段々とそして確実に力がついていったと思います。また、3年生になり困ったことが一つあります。それは今まで定期テストに向けての一時的な、いわばその場しのぎのような勉強しかしておらず、入試に向けての勉強をしてこなかったことです。入試が近づいてくる程、自分がどれだけ勉強をおざなりにしていたのかを実感して何度も後悔や焦りが押し寄せ、落ち着きが無くなり、普段しないようなミスをしてしまうこともありました。その時に、塾の先生方の話していた「切り換えが大事。」という言葉にとても助けられました。過ぎたことは仕方がない、今自分ができることを全力でする。そう思えたおかげで私は無事第一志望校へ合格することができました。受験生の皆さんへ伝えたいことは、どれだけ勉強していたとしても、本番で100%の力が出せる人は圧倒的に少ないと思います。そして、「もっと勉強していれば。」とおそらくどこかで思うことでしょう。どんな時でも落ち着いて今自分にできることを全力で行う。一日一日を大事にして、頑張ってください。私が高校へ合格できたのは私を支えてくれた、先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

旭丘高校 | 錦見 煌　①中１　②天王中

私は姉の影響で神田塾へ入りました。彼女がとても楽しそうな高校生活を送っているのを見て、私も自分の行きたい高校に行って楽しもう、と決めたからです。

3年間で私は、妥協しないことを一番大切にしました。志望校を旭丘高校にしたのも、行きたい高校に妥協したくなかったからです。結果として「その志望校に合格する。」という高いゴールは勉強のモチベーションを維持することに役立ちました。また、定期テストや模試などの順位についても妥協せず済むよう努めました。例えば苦手な範囲の問題が多いからと低い順位や点数を自分に許すのは、私はただの甘えだと思います。幸運なことに順位が出る機会がたくさんありましたので、その都度、高い順位に甘んじないことが、私には学力の維持そして向上につながったと感じます。

何より私は3年生を経て、一番妥協しないことの大切さを実感しました。

本来、受験生は受験以外にフォークスすべきではないかもしれません。ですが私は、どうしても私にとって大切なアクティビティがあり、続けたいと熱望したので、続ける選択肢をとりました。勉強との両立は時間的にも体力的にも難しいことでしたが、続けられたおかげで却って時間の使い方を見直すきっかけとなり、空いた時間は自習室を利用するなど無駄一切なく、そして「したいことができる」という精神の充実感により、一層集中して勉強に取り組むことが出来たと思います。とはいえ、こうしてどちらにも全力投球で集中できたのも、家族や神田塾の先生方が私の選択を尊重しサポートして下さったからだと理解しているつもりです。かなり自己中心であったと自認もしております。本当に感謝しています。ありがとうございました。

これから受験する方々へ。先生方は私達の選択を最大限尊重して下さいますし、問題に正面から向き合って下さいます。だからこそ利己主義的でいいので、後悔のない選択をして下さい。皆さんが志望校に合格されることを願っております。

一宮高校 | 山田 透史　①中１　②暁中

私は中学1年生になる2週間前に入塾しました。私がこの3年間で一番感じたことは「継続して勉強を行うこと」の大切さです。私自身の体験と共に「継続して勉強を行うこと」の重要性について話したいと思います。

私は中1・中2の時、毎日長時間ゲームをしていました。そのころの勉強と言えば、週2，3回ある塾とテスト週間だけでした。当時は、それでもある程度の点数や順位を取る事ができ、そんな勉強に満足していました。ですが、中3の第1回定期テストから思うような点が取れなくなり、どんどん成績が下がっていきました。夏休みから自習室に行き、勉強時間を増やしましたが、それでも周りの仲間との差は縮まりませんでした。その時焦りや不安、後悔などの思いで胸が一杯でした。そんな思いの中で行われた第3回定期テストは最低順位を吐き出し、絶望の中で「やるだけやって落ちてやる。」というふうに思うようになり、そこから週80時間勉強を受験が終わる日まで続けました。それからは、成績が上がって行きました。志望校にも余裕を持って受けられるくらいになり、心も楽になりました。このように頑張ったせいか、推薦ではありましたが第1志望の高校に合格することができました。

これまで私の経験について、長く語ってきました。塾生の皆さん。皆さんの今はどうでしょうか。毎日継続的に勉強している人もいれば、中には以前の私のような生活をしている人もいるかもしれません。ですが、上位校を目指すにあたって、毎日ゲームをしたり、友達と遊んでいたりしては、必ず私のような苦痛を味わうことになると思います。今のうちから復習をして、コツコツと自分の力を伸ばしていってください。この体験記を通して、私はずっと「勉強をしろ！」と言ってはいますが、趣味や娯楽をやるなとは言いません。ただ、塾長がよく『一日一日時間を大切にして。』とおっしゃっているように、時間は無限ではありません。限りがあります。そのことを踏まえながら、勉強、趣味・娯楽などと付き合っていって下さい。私は「努力は報われないこともあるが、裏切ることはない。」と考えています。勉強やその他のこと全てが自分の成長につながると思って、毎日が価値あるものになるよう努力してください。応援しています。

最後に、塾の先生方や同学年の仲間たちの支えで、ここまで頑張る事が出来ました。本当にありがとうございました。感謝しています。

明和高校 | 千田 紗羽　①中２　②神守中

私は中学2年生の初めに入塾しました。

私が受験までの道のりの中で一番辛かった時期は、入試まであと1ヶ月を切った頃です。そのころ、日曜講習『ザ・ファイナル』の点数が伸び悩み、塾で貼り出される順位表にも名前が載らないこともありました。頑張っているのにどうして結果が伴わないのだろう、そう何度も思い、とても落ち込みました。そこで私が見直したのは、塾でも常日頃から大切だと言われている、「間違い直し」です。それまでの私は直しをしても一度だけだったり、まだ完全に理解できていないのに、先に進んでしまったりすることがよくありました。なので、授業などの直しに加え、模試や、『ザ・ファイナル』の直しに力を入れ、自分がきちんと理解できるまで、何度も繰り返すことを意識しました。また、冬休みから始めた塾生個別指導で多くの問題を解いたことも実力につながり、やっと、最終回の『ザ・ファイナル』で上位に入ることができました。順位表が貼り出されたのは受験の数日前でしたが、とても嬉しく、同時にホッとしました。その結果は私にとって大きな自信につながり、入試当日は適度な緊張感を保ちながら問題を解くことができました。

ここから、これから受験を迎える皆さんに言いたいのは、最後まで絶対に諦めないで欲しい、ということです。受験までの残された時間は人それぞれだとは思いますが、これから上手くいかないことや、諦めたくなることにたくさんぶつかるかと思います。その時にすぐに第一志望校を変えたり、勉強をやめたりするのではなく、一度冷静に自分に何が足りないのか、考えてみて欲しいです。自分一人で分からなかったら神田塾の先生方に話せば、必ず親身になって相談に乗ってくださいます。

最後になりましたが、ここまでたくさんの相談に乗ったり、入試直前には私の自信になる言葉をかけたりしてくださった先生方、本当にありがとうございました。

桜台高校 | 下間 慶寿　①中３　②暁中

僕は中3の夏に神田塾に入りました。入る前に順位は10位台から20位台で、そこそこの高校に行けたらよいと軽く考えていました。それに自分の実力に割と自信がありました。しかし、夏期講習会で自分は実力がないのだと、はっきり気付かされました。そこから僕は本気で勉強に向き合うようになりました。が、なかなか思うような結果が得られませんでした。本当に苦しかったです。9月に入ると土曜講習、11月からは日曜講習が始まり、得点を得ることに重点を置いて取り組みました。そして冬期講習会が始まると少し緊張感が増していくのを感じました。正直に言うと、冬期講習会が一番辛かったです。しかし、自分にとってはものすごくやりがいを感じたのも事実です。この期間は本当に力を伸ばすことだけを考えて、必死にやりました。

僕は、志望校が決まっていませんでした。成績が上がりづらかったのもその影響が多少あったのだと思います。最初の第1志望校は松蔭でした。その後桜台となりましたが、だんだん力が伸びてきたのを実感したので、もっと上のレベルを目指したいと強く思うようになり、向陽高校を第一志望校に変えました。それから人一倍努力をするようになりました。

僕によく声をかけてくれたのは塾長でした。最後の方になると特に、だったと思います。志望校を変えたときの相談や、過去問の結果などについてもよく声をかけてくれました。本気で相談に乗ってくれたので僕も本気で打ち明けたりすることができました。塾長だけでなくほかの先生方にも感謝したいです。ありがとうございました。

入試はだれもが経験すると思います。一度きりの試験で、緊張感はものすごかったです。だからこそ後悔のないように、しっかりと準備をして欲しいと思います。そして友達と切磋琢磨し合うことも大切にして欲しいと思います。

僕は入試間際に体調を崩したことをすごく後悔しました。第一志望の向陽高校に行くことはできなかったけれど、桜台高校を「母校」と思い通うことを決意しました。悩んだときは先生に相談をしてみてください。神田塾の先生は必ず本気で聞いてくれます。短い間でしたが神田塾に入ってよかったです。ありがとうございました。

一宮西高校 | 石川 さくら　①中３　②永和中

私は中学3年生の夏休みから神田塾に入りました。定期テストの順位が落ちて来て、このままではマズイと感じ、塾に入ることを決めました。今まで自分のペースで勉強していたので、夏期講習会では、当然ですが長時間勉強するのが本当に辛く、集中力も全然続きませんでした。周りのみんなが普通に出来ていることが、自分だけ出来ていないので、不安に感じたことが何度もありました。

夏休み明けのテストも思ったより順位が伸びなくて、とても焦りました。しかし、ここからスイッチが入り、気持ちを切り替えて受験勉強に取り組めるようになった気がします。

9月から土曜講習が始まり、その時には私は長時間勉強する習慣がついていました。塾に入る時、「間違い直し」が一番大事だと教えられたので、間違い直しを授業後に必ずやるようにしました。一回では分からないことも多く、二、三回はやるようになりました。私は特に社会の歴史分野が苦手で、どれだけ勉強しても年号や時代背景が覚えられませんでした。模試でも社会の成績が悪く、なかなか伸びませんでした。

が、周りの人達も皆真剣に頑張っているので、私も頑張ろうと、自然と思うようになりました。今思うと、頑張る人たちがいる中での勉強、という環境が大きかったと思います。

私が一宮西高校に行きたいと決めたのは、夏休みに高校見学に行った時です。その時は学校祭の準備をしていたのですが、先輩のみんなが楽しそうで、「私もこの学校で楽しい学校生活を送りたい。」と思いました。志望校を決定したことで、目標が明確になりモチベーションが上がりました。

冬期講習会から自習の時間も増やす事が出来て、基礎力を固めておいたおかげで、難しい発展問題もだいぶ解けるようになりました。

高校入試の本番は緊張しましたが、「今までやってきた事が出来れば大丈夫。」と思い、落ち着いて、そして集中して取り組むことができました。しっかり勉強してきたという思いが自信につながったのだと思います。

神田塾の先生方、夏休みからと短い間でしたがお世話になりました。辛く感じたこともありますが、私にとって入試までの受験勉強は、濃縮されたとても貴重な経験となりました。苦手な教科の問題がどんどん解けるようになり、自分の成長を実感できました。先生方のお陰で無事合格できて嬉しいです。ありがとうございました。

一宮高校 | 太田 結　①小６　②暁中

私が神田塾に3年間通った中で一番印象に残っているのは、3年生のときの夏期講習会です。私はこの夏休みが志望校に大きく近づけた、とても大切なときだったなと思っています。

夏休みから先生方が朝と講習会の後に自習室を開けて下さったおかげで、塾の仲間と競い合いながら毎日10時間以上勉強することができました。自習室では先生からアドバイスをもらって苦手な教科の勉強をしたり、得意な教科の基礎を固めたりしました。具体的にはウイニングの強化学習を全て解き直したり、間違えたところを何度も書いて覚えたりしていました。

ただ、思ったように成績が上がらず焦ったり自信を無くすこともありました。そんなとき先生方が前向きになれる言葉をかけてくださったおかげで、私はくじけずに最後まで頑張ることができました。本当に感謝しています。

夏休みが終わり毎日塾に通うようになって、より一層勉強を頑張っている仲間や寄り添って励ましてくださる先生方がいたおかげで、「絶対に第一志望の高校に受かろう。」と気合いを入れ直して勉強に励むことができました。

そして、勉強を頑張ったことが自信になったのか、入試の日には自分でも驚くぐらい緊張せずやりきることができました。

受験生の皆さんに伝えたいことは、絶対に諦めずに頑張って欲しいと言うことです。私自身、もともと第一志望校に合格できそうにもない点数を取ってしまうこともありましたが、1年間どんな成績でも決して諦めず、全力で勉強をして、合格することができました。それは、先生方が何度も言ってくださったように「絶対にこの学校に行くんだ。」と強く思っていたからだと思います。なので皆さんも自分の行きたい学校での楽しいこと、そこから広がるその先の人生のことをたくさん考えたり、想像してみてください。きっと「この学校に行きたいな。」ともっと思うようになると思います。その気持ちを大切にして最後まで頑張ってください。応援しています。